

第1問

5 10 15 20 25 30

- A 年中行事化した政務・儀式を先例に従い滞りなく主導する能力。
B 10世紀頃には朝廷の儀式の整備が進み、それを執り行う手順や作法に関する先例が蓄積されていった。その結果、貴族たちには儀式を執行したり参加する際の具体的で正確な行動規範が求められた。
5 そこで、彼らは儀式の先例を子孫に伝えるために日記を書いた。

第2問

5 10 15 20 25 30

- A 承久の乱で後鳥羽上皇方が敗れたことで幕府の朝廷に対する優位が確立し、皇位継承や朝廷政治にも幕府が干渉するようになった。
B 後嵯峨上皇が院政の後継者を定めずに死去したため皇統が分裂した。その結果、自らの系統への皇位継承や院政を行う権利などを求めて、実質的決定権を持つ幕府からの優位な裁定を得ようとした。
5

第3問

5 10 15 20 25 30

- A 直轄鉱山の金銀産出量が減少するなかで、幕府は輸入品目の国産化を進めて輸入を抑制して、金銀の流出を減らすことを図った。
B 元禄期以降の商品経済の発達により、富裕な上層町人が増大していた。それに伴い、生糸を原料とする絹織物、砂糖を使用した嗜好品や朝鮮人参を原料とする薬などの高級品の需要が増えていた。
5

第4問

5 10 15 20 25 30

5

A 大戦により軍需品・船舶の輸出が増えた。欧州からの機械輸入が減少する一方、綿製品輸出が増大し、そのための紡績機械や織機の国産化が進んだ。また、電力化により電気機械の国産化も進んだ。
B 朝鮮戦争による軍需品を中心とした米軍の特需に伴い、武器や自動車などの需要が高まった。また、国内外の景気回復による国内消費水準の上昇と対米輸出の増加によって機械工業が活況を迎えた。